

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	25	米軍施設環境対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(5)-7		
			7 米軍基地から派生する諸問題への対応				
担当部課名	環境部 環境政策課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-8	
事業内容	返還予定地及び既返還地における環境問題への対応や、米軍の活動に基因する環境問題を解決するため、米軍施設に関する環境対策方針等を整備しながら、国と連携した新たな環境保全のしくみづくりを推進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	-	-	-	-	30,607
		(b) 予算現額	-	-	-	-	30,607
		(c) 増減額 (b-a)	-	-	-	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		-	-	-	-	30,607
	B. 執行済額		-	-	-	-	29,500
	うち交付金充当額		-	-	-	-	23,600
	C. 次年度繰越額		-	-	-	-	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	-	-	96.4%
予算の状況の説明		執行率は96.4%であり、委託事業における業務計画の適正化における経費節減及び、海外出張時における旅程の適正化による経費節減による不用額が生じたものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	米軍施設に係る環境情報の収集・分析	目標	-	-	環境情報の収集・分析を行う		
		実績	-	-	環境情報の収集・整理分析を行った		
		目標					
		実績					
達成状況説明	・環境調査ガイドライン(仮称)及び環境カルテ(仮称)の策定に必要な国内外の米軍基地に係る環境情報を、ハワイや北米、ドイツといった米軍基地が所在する海外において一定程度収集することができた。 ・収集した資料に関して、一定程度の整理分析は行えたが、十分な分析はできなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)
	米軍施設における環境情報の基礎構築	目標	-	-	-	基礎構築を図る	-
		実績	-	-	-	基礎構築を行った	-
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	・成果目標である米軍施設における環境情報の基礎構築については、以下の実績によって「達成」となっている。 ・環境調査ガイドライン(仮称)及び環境カルテ(仮称)の策定に必要な国内外の米軍基地に係る環境情報を一定程度収集することができた。また、これらの情報を整理することにより環境調査ガイドライン(仮称)及び環境カルテ(仮称)に盛り込む内容の検討を行うことができた。 ・検討委員会を設置し、環境情報の基礎構築に関する指導、助言を受けた。					

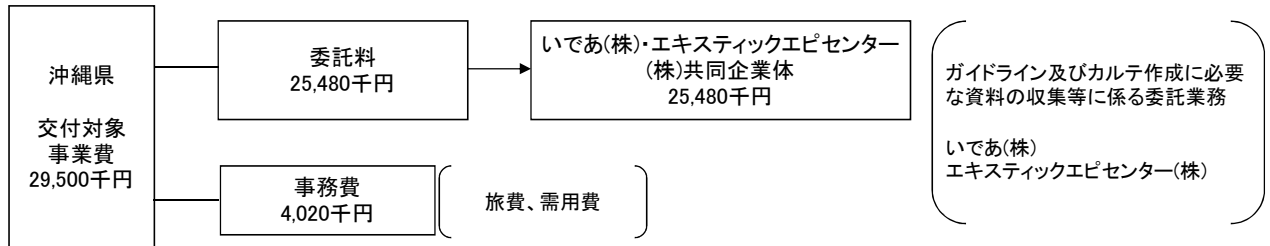
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績は、米軍施設に関する情報については一定程度の資料の収集と整理分析は行えたが、内容の詳細な分析は行えなかったため、「概ね達成」と評価する。 成果実績は、環境調査ガイドライン(仮称)及び環境カルテ(仮称)に盛り込む内容の検討を行うことができ、また検討委員会を設置し、指導、助言等を受ける事で環境情報の基礎構築を行えたため、「達成」と評価する。 事業推進の課題として、米軍施設に関する情報、資料については膨大な量になると想定され、平成26年度に収集した分だけでは不十分であることが挙げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な資料、情報の収集と、有用な資料の抽出及び分析を行う必要がある。 情報収集については、米国国立公文書館における資料収集の経験が豊富な者に委託することで、効率的に事業を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

- 平成26年度では収集しきれなかった情報、資料等について効率的、効果的に収集する。
- 今年度は収集資料からの有用な情報、資料等の抽出及び分析を優先的に行うとともに、新たな資料の収集は別業務として発注し資料収集の経験が豊富な者に委託することで有用な情報を効率的、効果的に資料収集を行う。
- 環境調査ガイドライン策定に向け、米軍基地が所在する国内自治体へのヒアリング及び現地調査を実施する。
- 環境調査ガイドライン及び環境カルテ策定に向けた関係資料の収集と整理、分析を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
29,500	29,500	23,600	5,900	0	0	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 特定地域特別振興事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(5)-イ			
担当部課名	知事公室 基地対策課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 30 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		戦後処理問題の解決 Ⅲ-12-(1)	
事業内容	旧軍飛行場により、地域社会が分散し、伝統・文化等の進展が阻害された地域の振興・活性化を図るため、各市町村が取りまとめた取組みを支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	340,695	—	3,308	—	5,074
		(b) 予算現額	340,695	—	3,308	—	5,074
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	340,695	—	3,308	—	5,074
	B. 執行済額		340,695	—	2,803	—	4,254
	うち交付金充当額		302,840	—	2,243	—	3,403
	C. 次年度繰越額		0	—	0	—	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	—	84.7%	—	83.8%
予算の状況の説明		・平成26年度の予算額が平成25年度と比較して1,766千円程度増額となっているのは、平成25年度は那覇市へ基本構想案策定経費への補助を行ったのに対して、平成26年度は那覇市の基本計画案策定経費への補助を行ったことによるものである。 ・平成26年度の執行率は83.8%であり、事業実施者である那覇市において入札した結果、執行残が発生し、補助額が減ったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	(仮称)那覇市複合施設建設基本計画策定に対する補助(那覇市)	目標	—	基本構想案策定	基本計画案策定		
		実績	—	基本構想案策定	基本計画案策定		
	(参考)果樹・野菜のビニールハウス、花卉平張りハウス整備のための補助(読谷村)	目標	63棟	—	—		
		実績	63棟	—	—		
達成状況説明	那覇市へ(仮称)那覇市複合施設建設基本計画案策定に係る経費に対する補助を行い、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	地域社会の再構築に向けた取り組み計画の策定((仮称)那覇市複合施設建設基本計画)	目標	—	—	—	基本計画案の策定完了	—
		実績	—	—	—	基本計画案の策定完了	—
	(参考)(仮称)那覇市複合施設建設基本構想案の策定	目標	—	—	基本構想案の策定完了	—	—
		実績	—	—	基本構想案の策定完了	—	—
	(参考)ビニールハウス・平張ハウス整備面積31,356㎡を整備し、コミュニティ形成に資する環境整備を目指す。	目標	—	ビニールハウス等の整備の完成	—	—	—
		実績	—	ビニールハウス等の整備の完成	—	—	—
	【参考指標】旧軍飛行場用地問題の解決団体数(累計)	目標	—	4団体	5団体	5団体	全9団体
		実績	3団体	4団体	5団体	5団体	—
	進捗状況説明	那覇市が、(仮称)那覇市複合施設建設事業の基本計画案を策定し、目標を達成することができた。那覇市が事業に着手したことにより、事業実施団体は5団体となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業内容に対する意向が各市町や飛行場ごとに異なるため、事業の進め方には十分留意しなければならない。	関係市町と進捗状況の情報交換を行い、旧軍飛行場用地問題の解決に向けて調整を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
旧軍飛行場用地問題の解決に向けて、関係市町村との連絡会議において確認した、条件の整った市町村から先行的に事業の実施に向けて取り組む等とした取組方針及び解決指針に基づき事業を実施するとともに、事業化に至っていない関係市町村と事業化に向けた調整を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
4,254	4,254	3,403	425	426	0	0


```

graph TD
    A[沖縄県  
交付対象事業費  
4,254千円] --> B[補助金  
(県)3,828千円  
(那覇市)426千円]
    B --> C[那覇市  
(県)3,828千円  
(那覇市)426千円]
    C --> D[有限会社アトリエ・ノア  
(入札者)  
4,254千円]
    E["(仮称)那覇市複合施設建設基本計画  
画案策定に対する補助"] --- C
  
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、事業主体である那覇市が入札により委託業者を選定しており、妥当である。また、負担関係については、8割が交付金による補助で残りの2割を県と那覇市が等分負担している。 平成26年度は、当初の計画のとおり基本計画画案策定を委託するものであり、予算規模も事業規模に対して適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	